

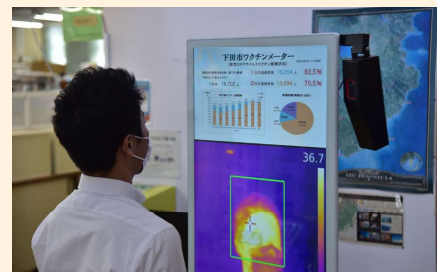
～下田のデキゴト～



9/25 日米サーフィン代表からのお礼
市内中学生が応援メッセージを寄書した国旗を日米サーフィン代表チームに送り応援したお礼に東京五輪で活躍した両国の代表チームよりサイン入りTシャツが送られてきました。金・銀・銅メダルおめでとう！



9/6 熱海市への災害派遣
土石流による被災地支援として市職員1名を熱海市へ派遣しました。建物が全壊、大規模半壊になった住民に支援金を給付する事務を行いました。近年多発する自然災害における業務を肌で学ぶことができた5日間でした。



9/7 接種率が一目でわかる！
ワクチン接種の状況が一目でわかるように「下田市ワクチンメーター」を作成し可視化しました。接種率を公開して接種を受けようという前向きな行動につながればと、毎週水曜日に最新情報を公開していきます。



9/10 下水道の日 キャンペーン
下水道の日に併せて、下水汚泥をリサイクルした堆肥と花の種を、市内7小学校及び公立幼保こども園3園に配布しました。下水道について学習する子どもたちの興味を持つきっかけとなってくれるとうれしいです。



9/21～30 守ろう！交通ルール
『秋の全国交通安全運動』が21日から30日まで10日間にわたり開催されました。21日早朝と28日夕方に交通安全関係団体による街頭指導が行われ、のぼり旗でドライバーに注意啓発を行いました。



9/23 ホストタウンオンライン交流会
米国ホストタウンが集うオンライン交流会に参加しました。ホストタウンの子ども達から、東京大会のアメリカ代表選手へお礼や今後の活躍を応援するメッセージが伝えられ、交流の発展に繋がるものになりました。

9月のできごと

- 1日 下田幼稚園・下田認定こども園（幼稚園部）始業式
- 8日～ 市議会9月定例会議

- 10日 「下水道の日」キャンペーン
- 19日 市職員採用試験 秋日程
- 21日～ 秋の全国交通安全運動街頭指導

地域子育て支援センター通信

問合せ先 地域子育て支援センター ☎072200



11月の予定

- 1日(月) まっちゃんとおぼろ(つながり遊び歌)
講師 町田浩志先生
 - 4日(木) めだかルーム 9時～11時30分
 - 5日(金) ふれあい遊び ※午後閉館(清掃・消毒)
 - 10日(水) あひるルーム 9時～11時30分
 - 12日(火) 誕生会
 - 15日(月) 体育館で遊ぼう 9時30分～11時
場所:市民スポーツセンター(サンワーク)
 - 16日(火) 知育ヨガ 講師 村瀬励子先生
 - 17日(水) うさぎルーム 9時～11時30分
 - 19日(金) ふれあい遊び ※午後閉館(清掃・消毒)
 - 22日(月) 発育測定・育児相談・栄養士講話 9時～11時
保健師・栄養士来所
 - 25日(木) 8020虫歯予防教室 10時30分～11時15分
 - 30日(火) タッチセラピー&レスキューアロマ
講師 猪又留美先生
- ※予定は変更になる場合があります。
詳細は子育て支援センターまでお問い合わせください。



プール遊び

さわやかな風が吹き、過ごしやすい季節になってきましたね。支援センターでは10月に、まどが浜海遊公園のかけ広場や、年齢別ルーム(うさぎルーム)では敷根公園の散策を計画しています。戸外に出て自然の中で一緒に外遊びを楽しんでみませんか。皆さまのご参加をお待ちしております。また、朝夕と日中との気温差が大きくなりました。薄着を心がけながら衣服の調節をしていきましょう。



誕生会

ふれあい遊び

こんにちは、市長です

スポーツの日にちなんで

10月10日。昭和39年のその日、東京五輪の開会式が行われたことから、長い間、「体育の日」として親しまれていました。昨年から、「スポーツの日」として10月の第2月曜となっています。(今年は東京五輪で7月24日)さて、今回はパラリンピックのお話です。前回の東京五輪のときにも開催されましたが、その内容はあまり知られていません。当時はまだ偏見が根強く、選手たちも初めのうちには消極的だったそうです。では、今年の東京パラリンピックはどうだったでしょう。私には忘れられないシーンがいくつもあります。一つ目が女子水泳の山田美幸さん(14歳)。両腕がないスイマーで、足でキックしながら前に進むというひたむきな姿と、準優勝になった瞬間の14歳の初々しい笑顔が印象的でした。次は、ラケットを口でくわえて卓球をするエジプト代表のイブラヒム・ハマトさんの(48歳)。首を振って玉を打つ多様な価値を認め合おう、と言われます。私達は一人一人違う。肌の色も言語も宗教も。得意なこと苦手なことも人それぞれです。でも、だからこそ私たちは互いに認め合い、共生していくことが求められるという考え方です。長引くコロナ禍で人々の絆に亀裂が入り、つい批判的な言葉が口をついてしまいがちですが、他者を思いやり、温かい社会を築きたい。皆さんと一緒に人々にやさしい町を目指していきたいと思えます。